

## 第26期生 フィジカルアセスメント技術試験に向けて

1年生は1月末から、初めての臨地実習である「基礎看護学実習Ⅰ」に臨みます。それを前に、患者さまの状態を把握するための技術として、フィジカルアセスメントの技術試験に臨みます。

フィジカルアセスメントとは、「フィジカル（身体的な）」な情報から、「アセスメント（情報を意図的に収集し、それに基づいて身体的な状態の把握を行うこと）」し、全身の状態を系統的に査定していくために必要な技術です。みなさんも、病院を受診する時に、問診（いつから、どのような症状か等）されたり、聴診（胸などの音を聴く）、触診（首やお腹を触り、確認する等）をされたことがあると思います。また、体温や血圧を測定されたこともあるのではないのでしょうか。

そのような技術を実習前までに、確実に習得できるよう、学生は日々練習に励んでいます。1月からの実習では、その練習の成果を発揮し、患者さまの健康状態を把握できることを目指しています。

【血圧測定の練習風景】



【教員と共に測定し、正しく測定できているか確認している場面】

